

第48回 愛知県障害者技能競技大会 縫製 (知的障害) 競技課題

課題 エプロン製作



1 競技時間：3時間 最大延長時間：30分 (但し10点減点)

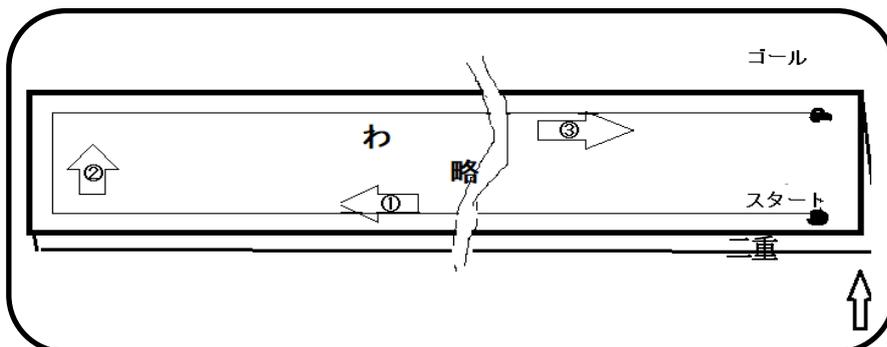
2 注意事項

- ① エプロンは工業用ミシン、家庭用ミシンのどちらでも製作可能。
どちらを使用するかを申し込み時、使用補助具に「〇〇用ミシン使用」と記載する。
持ち込みの場合は、「ミシン持ち込み」と記載する。
- ② 各パーツの枚数や大きさを測定し、確認する。
- ③ 各パーツの布地にアイロンをかけて地直しをし、表裏を区別して正確に組み立てる。
- ④ ポケットの印 (穴) はあるが、必ず自分で実測 (中心から8cm) する。
- ⑤ ミシン目の調整は、各自で確認する。(針目は3cmに16針目程度がめあす)
ミシンで不具合があった場合は、すぐに手を挙げ知らせる。
- ⑥ 支給材料は、材料に欠陥のない限り、再支給しない。
- ⑦ 競技中、工具類の貸し借りは禁止する。
- ⑧ 競技を終了する時は、手をあげ、競技役員に「終わりました。」と伝える。

3 製作手順

(1) ひも作り

- ① 長辺2か所と短辺1か所を1cmの縫い代で折り、成形する。
(折り方は参考資料参照)
- ② ひものステッチは、2重になっているところからスタートする。コの字に端ミシン (端から0.2cm) とする。
- ③ 方向を変える時は、必ずミシン針をさしてから方向を変える。

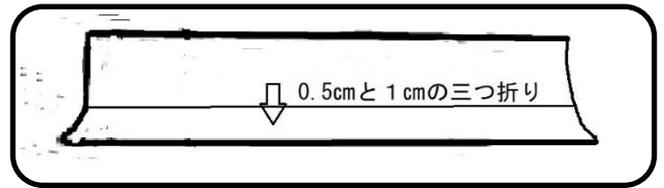


※でき上がり寸法、
肩ひも2cmと
腰ひも4cmを確認する。

(2) 見返しつくり

見返しのすその部分を0.5cmと1cmに三つ折りをし、端ミシンをする。

※三つ折り幅は1cmあるか確認する。



(3) ポケットつくりと付け

① ポケット口を1cmと2cmの三つ折りをし、端ミシンをする。

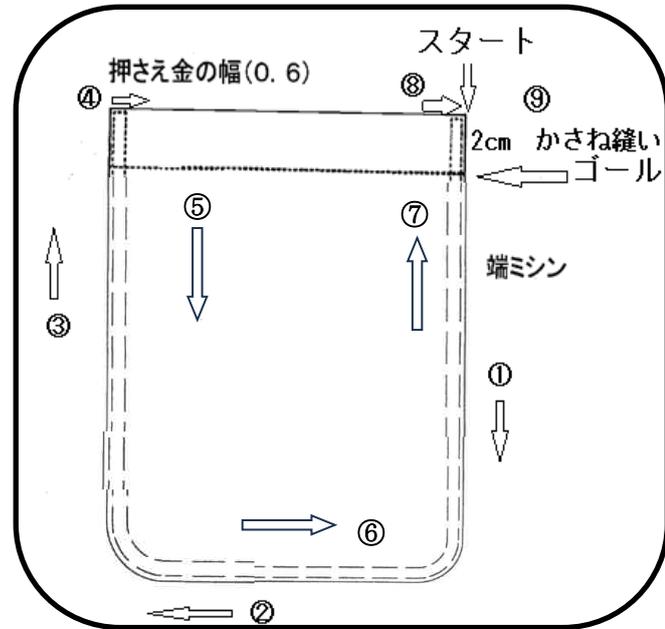
※三つ折り幅は2cmあるか確認する。

② ポケットは、ぬいしろを1cmに折って形を整える。ゆがみがなく、寸法が合っているか確認する。

③ ポケットの位置は、エプロン本体の中心から8cmのところに（穴があるが各自確認する）ポケットの角がくるように置く。

中心から8cm（左右のポケット間16cm）

を確認し、固定する。上の図を参照にステッチする。

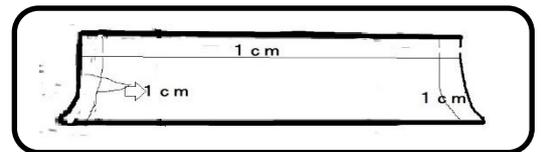


(4) すそ縫い

1cmと1.5cmの三つ折りをし、端ミシンをする。※三つ折り幅1.5cmあるか確認する。

(5) 見返しつけと袖ぐり

① 見返しに上、左右の三方に1cmの印をつける。

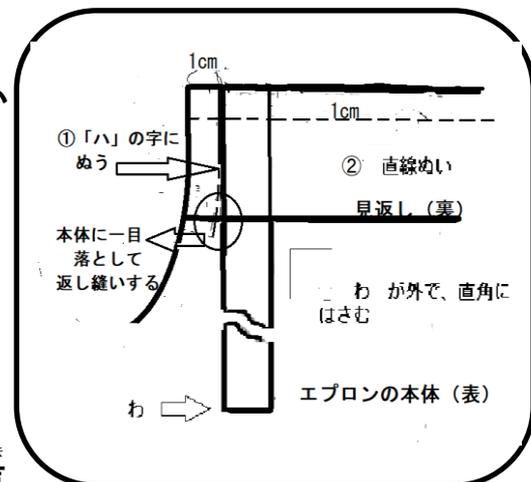


② エプロン本体の表に見返しは表を下に中表にし、見返しの左右「ハ」の字に縫う。見返しのすそから本体に一针ミシン目を落とし、返し縫いをする。

③ 肩ひもを「外わ」にし、直角になるようにまっすぐにはさむ。

④ 上部1cmを直線でミシンをかける。

⑤ ④のミシン目に合せてエプロン本体側に折り、蒸気



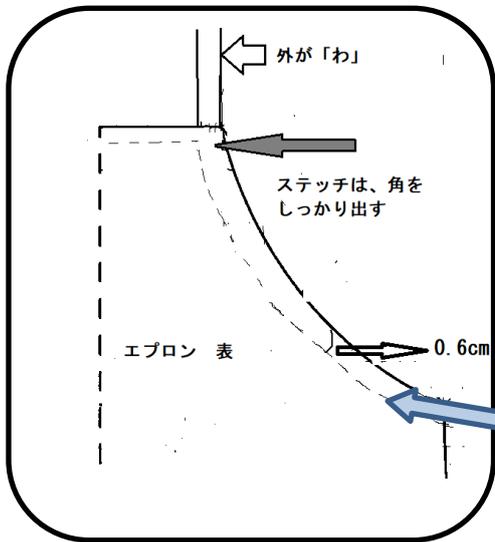
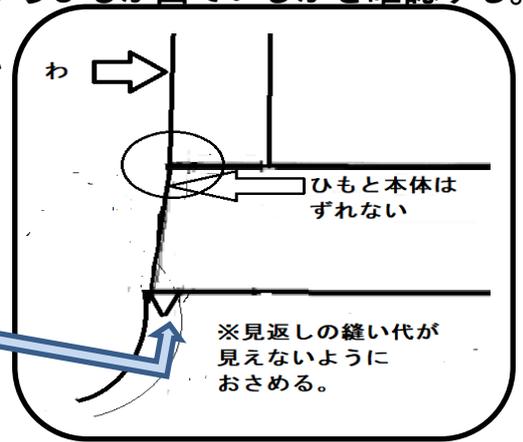
アイロンをかける。（角が厚いときは、ぬいしろの角を切って落ち着くようにする。）

⑥ ⑤をひっくり返し、角を出す。右の図のように端からひもが出ているかを確認する。

表から見返しがみえないように三角に出ている部分を折り込み、アイロンで仕上げる。

※図のように見返しの端から出ている部分は、見返しに折り込むかカットする。

見返しの幅が4 cmあるか確認する。



⑥ 袖ぐりは、伸び止めテープのところ（ロックミシンのところ）を軽くつまみ伸ばしてなじませ、1 cmに折る。

※テープのところを強くつまみ伸ばすと、伸び過ぎとなるので注意。

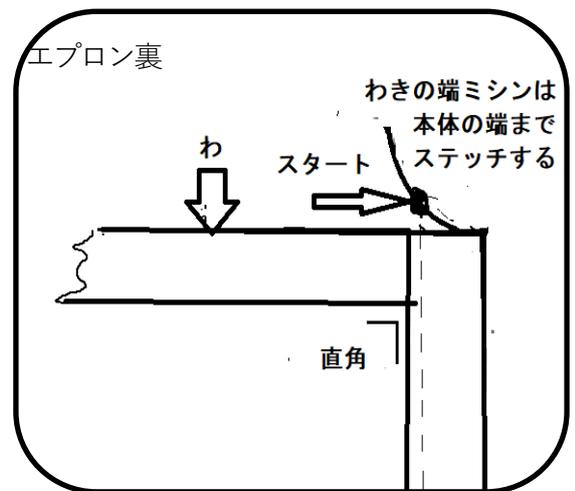
⑦ エプロン本体の表から、袖ぐりと見返しに左の図のように、ミシンの押さえ幅（0.6 cm）でステッチをする。

(6) 脇の始末

① 1 cmと1.5 cmの三つ折りをする。

※三つ折り幅は1.5 cmあるか確認する。

② 腰ひもを上「わ」がくるように、腰ひもの角を脇の角に合わせてはさみ込み、端ミシンでステッチする。



※ステッチは三つ折りの上、本体の端より延長したところから縫う。

ほうせいぎょうぎしょうようぐいちらんひょう
縫製競技使用用具一覧表

1 1 きょうぎしゃ じさん
競技者が持参するもの

じさん ひんめい 持参する品名	き かく 規 格	すう りょう 数 量	び こう 備 考
ほうせいようぐるいっしき 縫製用具類一式	てき ぎ 適 宜	てき ぎ 適 宜	た ばさみ、こ ばさみ、めう 裁ばさみ、小ばさみ、目打ち ものさし、チャコ、ステッチ じょうぎ 定規 ほか ひつよう ほじょ ぐとう 他 必要な補助具等

2

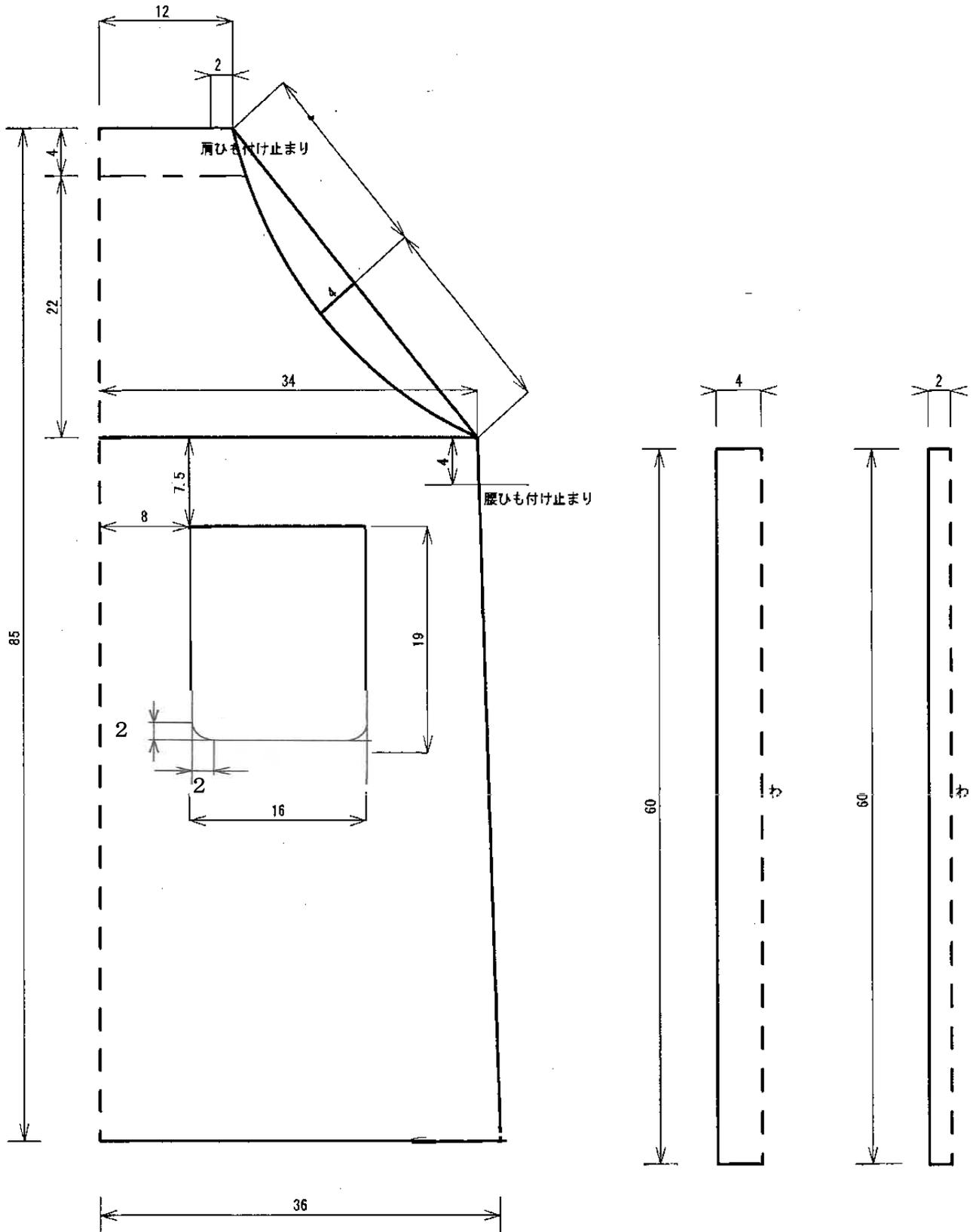
きょうぎじょう じゅんび
競技場に準備してあるもの

	ひん めい 品 名	き かく 規 格	すう りょう 数 量	び こう 備 考
1	さぎょうだい 作業台		1 だい 1 台	
2	ミシン	しよくぎょうよう じどう ・職業用 自動 いときりつ 糸切付きミシン ・家庭用電子ミシン	どちらか 1 だい 1 台	
3	ボビンケース		1 こ 1 個	各ミシンに合った物
4	ボビン		2 こ 2 個	同上 (したいとま ず 下糸巻き済み)
5	ミシン ばり 針	# 1 1		同上
6	アイロン	かていよう 家庭用 スチームアイロン	1 だい 1 台	すいぶんほじゅうよう (水分補充用ペットボトル)
7	アイロン しょうしきふ 用敷布		1 まい 1 枚	
8	おもてじ 表地	めん 綿ブロード	1 まいぶん 1 枚分	さいだん ず 裁断済み そで 袖ぐりバイアステープ ロック ず 済み
9	ミシン いと 糸	かせんいと 化繊糸 #60	1 まき 1 巻	

ちゅう つか な しょうきぼう かた もちこ かのう
注 1 使い慣れたミシン、アイロンを使用希望の方は持込み可能です。

なお、ミシン持ち込みの場合はボビン、ボビンケース、ミシン ばり
針は
かくじ よういくだ
各自でご用意下さい。

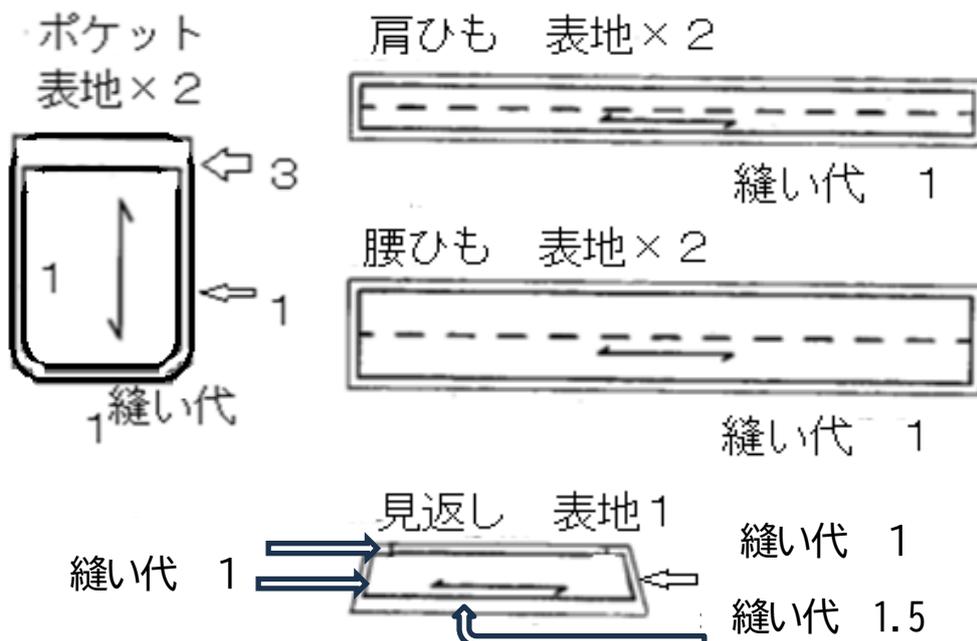
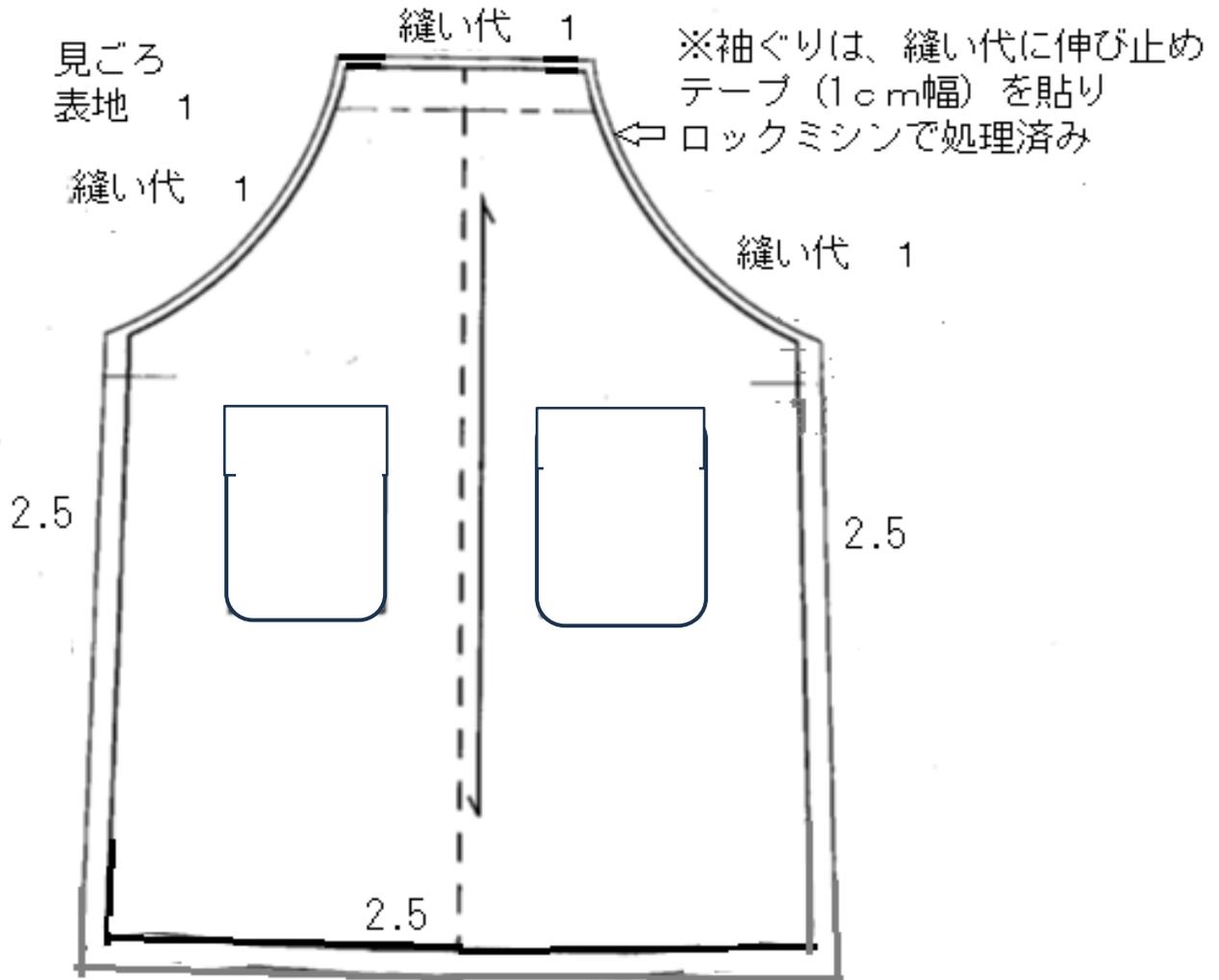
エプロン ぎのうきょうぎたいかいかいだいせいず
 (技能競技大会課題製図)



すうじたんい
 数字単位 cm

ぎのうきょうぎたいかいかだいぬしろ
エプロン (技能競技大会課題 縫い代)

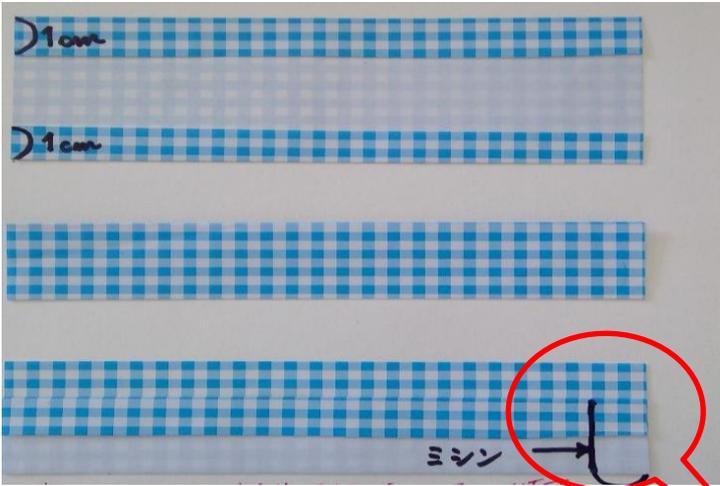
はいふ おもてじ すんぼう さいだん しより
 *配布される表地はこの寸法で裁断、処理されています。



さんこうしりょう
参考資料

① ひも作り (きれいに仕上げる一つの方法です。)

さんこう 参考にしてください)



じょうき 上記③の詳しい説明

かくだいず 拡大図

②の広げ方は一方の端を中表に、

10cmほどひっくり返し 右図のように、

片方は広げ、片方は折り布端から1cmのところを縫う。

ミシンのところで折り、アイロンをかけ、

ひもの角をしっかりと出して、形を整える。

※ 角はきれいに

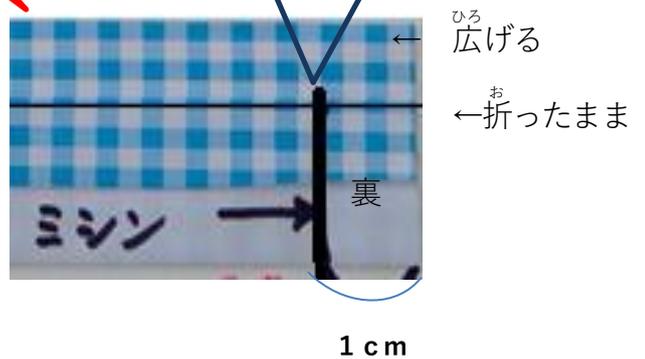
目打ちで出す。



こし 腰ひも、かた 肩ひもどちらも同じ

- ① 裏を上向きにし、長辺両端1cmアイロンで折る。
- ② ①を外表に半分にアイロンで折る。
- ③ ②を広げ、表を中にして端から1cmのところにミシン。

ひとめした おと 一目下に落として返し縫い



④ ステッチをかける。

(ステッチは、「製作工程」

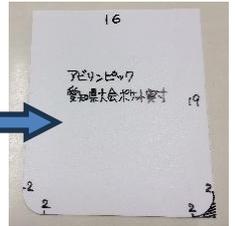
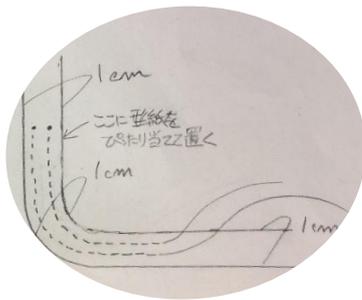
ひもづくりの図 参照)

※ できあがりの寸法をそれぞれ確認し、角は90° になっていることを確認すること

②ポケットのカーブ (きれいに仕上げる一つの方法です。参考にしてください)

・できあがりの大きさと、厚紙で型紙をつくりま

(アイロンをかけるので溶けない厚紙がよい。)



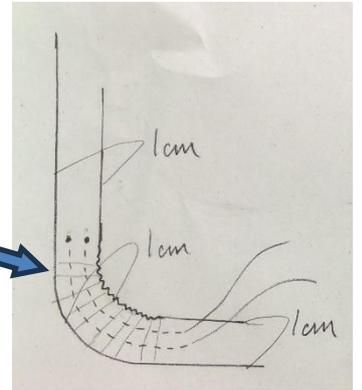
(1) 1 cmの縫い代に、カーブのところに2本細くなく縫いを

します。片方は玉止めで固定し、もう片方は長めに糸を残します。

(2) 厚紙を出来上がり線にあて、それに沿うように糸を一緒にひっぱり、カーブの形を整えます。



(3) 厚紙をあてたまま、アイロンの先で形を整えます。



③ひも付け (ひもをつけるところに、多くの注意点ががあります)

肩ひも付けの注意点

見返しとひもが付き、表にかえたとき



ひもはまっすぐに本体からでているか。

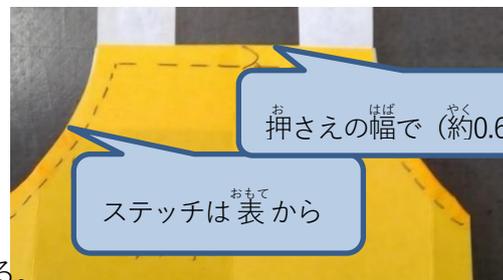
本体とひもは一直線に

ステッチをかける前に、袖ぐりにしわなどなく、きちんと落ち着いているかを確認する。

突っ張りやしわがあるときは、裏側の伸び止め

テープのところを、つまんで少し伸ばして落ち着かせる。

(伸ばし過ぎは戻らないので注意)

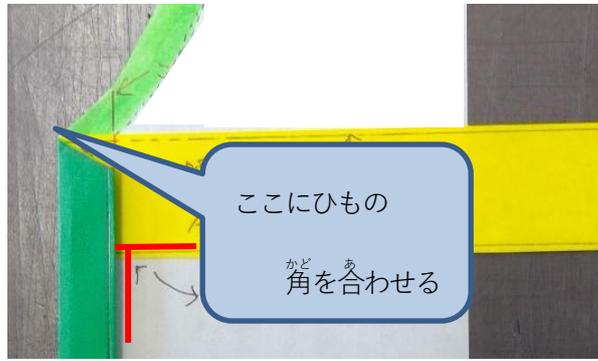


おさえの幅で (約0.6cm)

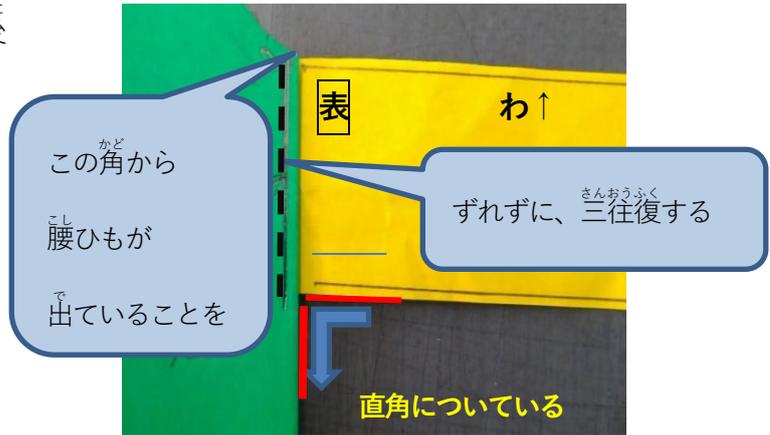
ステッチは表から

こし 腰ひも つけの 注意 点

こし 腰ひもを脇にはさんだときに
き 気をつけること



ひもを 表 に向けて、アイロンで 整 えた後
おもて 表 からもひもがまっすぐついているかを
かくにん 確認して、ステッチをかける。



* 「参考資料」は、課題を製作手順にそって作成するときご活用ください。